

「各産業別に利用されているドローンの紹介 ーあなたの職場でもドローンが使えるかもしれませんー」

開催主旨

■ 幅広い分野での利活用が期待される小型無人機(ドローン)について、産業別に利用されているドローンについて紹介し、未導入の職場や産業におけるドローンの導入や利活用の可能性を考える。

日時：平成30年1月28日(日) 13時00分～15時30分

場所：那賀町地域交流センター

(那賀町和食郷字南川104-1)

主催：徳島大学地域連携戦略室、
徳島大学地域創生センター

共催：那賀町ドローン推進室

協力：一般社団法人徳島県ドローン安全協議会、那賀町地域再生塾 丹生谷応援団、D-PLAN株式会社

内容

- (1) 講義「ドローン基礎・オリジナルドローンとは!？」
徳島大学大学院社会産業理工学研究部准教授
三輪昌史
- (2) 講義「徳島県版ドローン特区那賀町での取組」
那賀町地域おこし協力隊 喜多幸治
- (3) 講義「各業種に対しての実証実験と参考データ」
D-PLAN 株式会社代表取締役 河野和宏
- (4) 飛行デモ
- (5) シミュレーション体験
パソコンでドローン操縦体験
- (6) ドローンに関する意見交換・質疑応答
(展示)

AR(拡張現実)写真展、ドローン展示

概要

地域交流シンポジウムは、本学が地域社会の課題や要請に応えるための地域貢献事業の一環として実施しているもので、今年度は第14回目の開催となった。

小型無人機(ドローン)は物資輸送・インフラ点検・鳥獣害対策等、幅広い分野での利活用が期待され、地域において人口減少や高齢化により人手不足や移動困難者の増加が進む中で、そういった課題解決への可能性を有している。

那賀町はそうしたドローンの利活用モデルを全国に先んじて構築するべく、平成27年10月に徳島県版ドローン特区に認定され、ドローンのオペレーター養成講座や利活用実証実験等を数多く開催してきた。

今回の地域交流シンポジウムは、そのドローンに着目し、徳島版ドローン特区に認定されている那賀町で開催したものだ。

講義では、徳島大学大学院社会産業理工学研究部 三輪昌史准教授から、ドローン技術の発展・用途の多様化等について、那賀町地域おこし協力隊 喜多幸治氏から、徳島県版ドローン特区那賀町での取組について、D-PLAN株

式会社代表取締役 河野和宏氏から、各業種における実証実験の取組や関係法令の許認可等について話があった。

続いて、那賀町鷺敷体育館でのドローンの飛行デモの見学、室内でのパソコンを使用したドローン操縦シミュレーション体験を実施した。

最後に行った意見交換・質疑応答では、参加者から関係法令の許認可に関する質問がある等、ドローンの利用に向け積極的な姿勢が見られた。

その他、シンポジウム会場では、小型から産業用大型機まで含めた複数のドローンの展示及び、那賀町地域再生塾 丹生谷応援団の協力によりAR(拡張現実)技術を活用した那賀町の観光名所等のパネル展示を行った。



講義を行う三輪昌史准教授



操縦シミュレーション体験に取り組む参加者